

序

今回の「中高年キャリア開発研究会」をふりかえってみて、従来日本のキャリア開発の研究では余り明確にされていなかった「中高年キャリア開発問題の基本構造」がかなり鮮明になったように考えられる。

先づ、キャリア開発が、企業主導型であれ、個人主導型であれ、基本的には、従業員個人がどのような職業にアイデンティティを感じるかということをも自分自身で真剣に考えるべきことが指摘され、そのためには、自己の分析と共に経済・社会に関する情報、職業情報等の提供が必要なこと、そして基本には、個立の精神を持ちながら、ライフプラン、ワークショップ等の方法を使いながら、自分のキャリアの方向づけをしていくことが討議されている。このような結果から自分の職業上の専門性が鮮明に意識されると共にその内容は履歴書の中に記述される迄に至るべきであることが述べられている。このような自分の選択によるキャリアの方向づけをもとにして、自分の努力すべき自己啓発の方向が戦略的に定められ、その方向に具体的な努力をすることが出来るように行政、社会、企業、個人の連けいが必要であることが述べられている。そして、個人はそのような連けいの中で、さまざまな教育のサービスを利用して、自己啓発にはげむことになるわけである。

以上のような枠組のもとに、具体的に企業の中での職種転換、転職等の場合における事例等が述べられている。

一年間の研究を通して、ようやくこの問題の基本構造が鮮明になりつつあることで、今後は、それぞれの部分での更に細かい各論の研究と全体の体系化の再検討が更に必要になることと思われる。

この一年間の委員の方々の極めて御熱心な御研究に感謝申し上げますと共に、次年度の御協力を心から御願ひ申し上げます次第である。

昭和62年3月

中高年キャリア開発研究会
座長 天谷 正

中高年キャリア開発研究会委員名簿

座長	天谷 正	日本文理大学教授
委員	伊藤敏明	東京商工会議所産業経済部主査
	菅野篤二	現代マネジメント研究会主任研究員
	小松 勝	(学) 産業能率大学総合研究所企画室企画課長
	田中久夫	(学) 産業能率大学総合研究所主任研究員
	豊島洋二	(社) 全国地方銀行協会研修部長代理
	堀内和明	(株) 荏原製作所羽田工場人事勤労課長
	森下一乗	(株) ブライトキャリア常務取締役
オブザーバー	大月和彦	労働省職業能力開発局能力開発課長
	松崎 朗	労働省職業能力開発局企画室長
	高橋 匡	雇用促進事業団職業訓練部次長
幹事	泉 輝孝	職業訓練研究センター基礎研究部長
	藤本秀憲	職業訓練研究センター基礎研究部訓練需要研究室長

執筆者

天谷 正	日本文理大学教授
泉 輝孝	職業訓練研究センター基礎研究部長
伊藤敏明	東京商工会議所産業経済部主査
小野 憲	(株)日本マンパワー代表取締役
菅野篤二	現代マネジメント研究会主任研究員
小松 勝	(学)産業能率大学総合研究所企画室企画課長
田中久夫	(学)産業能率大学総合研究所主任研究員
豊島洋二	(社)全国地方銀行協会研修部長代理
西村純一	雇用職業総合研究所研究員
堀内和明	(株)荏原製作所羽田工場人事勤労課長
森下一乗	(株)ブライトキャリア常務取締役
横倉 馨	(株)キャリアプランニングセンター代表取締役
横山哲夫	モービル石油(株)顧問

訓研調査研究資料

第83号

中高年キャリア開発研究会

～中間報告～

発行	1987年3月
発行者	職業訓練研究センター 所長 多賀谷 敏夫 〒229 神奈川県相模原市相原 1960 電話 0427-61-9911 (代)
印刷	(株) ワーク1 相模原市中央2-8-9 電話 0427-58-6091